



Press Information

VPR22-016
2022年4月20日(火)

フォルクスワーゲン 新型「Polo」先行受注開始 日本累計輸入台数約 30 万台の人気コンパクトハッチバックがさらに進化 オプション費用 5 万円分をサポートする予約注文キャンペーンを開始

フォルクスワーゲン ジャパン（東京都品川区：ブランドディレクター アンドレア カルカーニ）は、マイナーチェンジしてさらに進化を遂げたコンパクトハッチバック新型「Polo（ポロ）」の先行受注を本日より全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーで開始します。同時に、本日から6月22日（水）までにご予約いただいた方全員*に、オプション費用 5 万円分をサポートする予約注文キャンペーンを展開いたします。なお、新型「Polo」の発売は年央を予定しています。

*6月22日までの期間中にキャンペーンにご応募いただき、対象車種（新車）をご成約、かつ9月末までに車両登録を完了された方。

「Polo」は、1975年の欧州デビュー以来、これまでに全世界で1,800万台（2,050万台：派生モデル含む）、日本では1996年の本格導入以降、累計約30万台をお客様にお届けするなど、世界で最も成功したコンパクトカーの1つです。日本市場では、そのサイズと使い勝手の良さ、お洒落でカジュアルな輸入車というイメージが人気を博し、高く支持されています。

今般導入する新型「Polo」は、フロント・リヤ回りのデザインを刷新しました。インテリアは、9.2インチの大型モニターを搭載したVolkswagen 純正インフォテイメントシステム”Discover Pro”を採用した他、デジタルメータークラスターやタッチコントロール式エアコンディショナーパネルを採用し、先進的なインテリア空間を提供します。パワートレインは全車最新世代の1.0TSIエンジンを採用。市街地で十分な動力性能を発揮するとともに、高い静粛性も実現しています。先進安全装備には、同一車線内全車速運転支援システム“Travel Assist”やLEDマトリックスヘッドライト“IQ.LIGHT”などフォルクスワーゲンが提供する最新の装備を採用。欧州の自動車安全アセスメント「ユーロ NCAP」で最高評価となる5つ星を獲得した新型「Polo」は、これまでのコンパクトハッチバックのクラスを超えた高いクオリティを持ち併せています。

グレード展開は4グレード展開。従来のTrendlineに代わりLEDヘッドライトなどを標準装備する『Active Basic』、Comfortlineに代わりデジタルメータークラスター“Digital Cockpit Pro”などを標準装備する『Active』、Highlineに代わり同一車線内全車速運転支援システム“Travel Assist”やLEDマトリックスヘッドライト“IQ.LIGHT”を標準装備する『Style』を設定。また、専用アイテムを身に纏ったスポーティモデルの『R-Line』も引き続き設定します。

ボディカラーは新色のヴァイブラントヴァイオレットメタリックの他に、キングズレッドメタリック、アスコットグレー、リーフブルーメタリックなど合計7色の多彩なカラーラインアップです。

フォルクスワーゲンでは、新型「Polo」の予約注文キャンペーンを開始するにあたり、新型「Polo」ティザーサイトを本日より公開する他、全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーでは、新型「Polo」の特徴を解説するスペシャルティザーリーフレットを配布いたします。

新型「Polo」ティザーサイト：https://www.volkswagen.co.jp/ja/magazine/thenewpolo_cp.html

新型「Polo」の広報写真は、フォルクスワーゲン プレスクラブからダウンロードしてご利用ください。
<http://www.volkswagen-press.jp/>